

第11回池田町・地方創生戦略町民会議 ～「なかま」分野④～

令和3年1月7日(木)
午後2時～5時
能楽の里文化交流会館 2階大会議室

2021/01/07

1

なかまに関する基本目標について

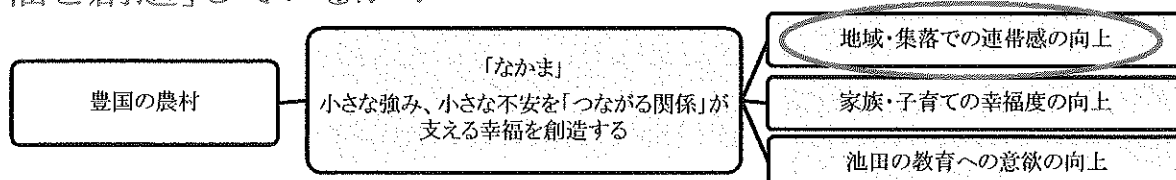
地方創生戦略第3章

小さな強み、小さな不安を「つながる関係」が支える幸福を創造する

都市での暮らしの「無縁化」「孤立化」、企業における「人の部品化」などは人々が関係しながら生きる社会にとっては不安といえる。一方、農村においては、「向う三軒両隣」「お裾分け」「小さなおせっかい」などといった、GDP に加算されない安心感があり、豊かさが残っている。この「つながる関係」の幸福度を定住促進に生かしていく。

本日の留意点:

私たちは「小さな強み、小さな不安を『つながる関係』が支える幸福を創造」しているか？



2021/01/07

2

地域課題への主な取組みについて(振り返り)

	すみか	しごと	なかま
地域・グループ	<ul style="list-style-type: none"> 集落のルールブック 移住者への声掛け 移住者の受入れ 空き家・空き地登録の働きかけ 集落の暮LASSELサポーター 関係人口と景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 農業の複合化・多角化及び大規模連携 異業種の多業化連携で雇用確保 農福商工連携で園芸 地域資源循環活動のPR 生産加工者増で商品増 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け農業体験・農村体験・池田体験 子どもの居場所づくり 家の手伝い推進 福祉的支え合い みんなの活動の場づくり 楽しい活動 横のつながりづくり
行政	<ul style="list-style-type: none"> 希望する集落への町営住宅の建設 移住者・集落間の情報共有 空き家の改修方法の提案 空き家隣接農地の売買の下限面積の見直し 住宅補助の見直し 屋根融雪の方法の情報提供 景観のルール作り 	<ul style="list-style-type: none"> 光など通信網の整備 起業補助の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て補助の見直し ほっと保育室の料金見直し 自治支援のフォロー 集落で話した課題のフォロー

2021/01/07

3

地域・集落での連帯力の向上

地方創生戦略第3章 3-1 地域・集落での連帯力の向上

池田町では、自治向上につながるよう、地域の自助・近助・共助の機会を増やすこと、また、地域で人々が顔を合わせて協働作業をする機会を増やすことを支援し、地域や集落の連帯力の向上につながるよう努める。

【政策実施指標の達成状況】

重要業績評価指標	目標値	実績	説明
集落ごとの地域づくり計画策定	0	0	・地域自治の課題は、地域自身で課題解決に取り組む動きが少ないことである。地域課題解決のための組織は、成人全員が意思決定に参加できるような、多様な意見を取り込むとともに、地域全体の協働が可能となる方法を模索することが期待されている。
若者の地域づくり計画策定への参画	0	0	

○その他計画・体制

- ・ ご近助防災計画
- ・ 中山間地域等直接支払い制度の集落協定
- ・ 人・農地プラン
- ・ 住民の支え合いによる生活支援体制の充実(介護保険事業計画)
- ・ 地域で子育て家庭を支える環境づくり(子ども・子育て支援事業計画)

地域においては、多種多様な計画づくりや活動をしていますが、「地域の未来」について考えて文字にしているのは少ないようです。それはどうしてでしょうか？

2021/01/07

4

課題解決のための連帯力の向上について

本日の論点①

地域で未来を考える場はどのようにつくればよいですか？

(例) 常会？区議会？役員会？老人会？壮年会？夫婦会？中年会？青年会？婦人会？子ども会？

本日の論点②

実行に移していくために、どのような行政の支援が必要ですか？

(例) ちょっといいですか？まちの話、コミュニティ育成交付金

2021/01/07

5

地域・集落での連帯力の向上(他地域事例)

I. やねだん(鹿児島県鹿屋市柳谷地区)(人口約250人)(<http://www.yanedan.com/>)

理念: 行政に頼らない「むら」おこし

目標: 「住んで良かった」「住みたいな」と思える「安心・安全」な地域づくり

考え方: 集落民一人ひとりが「レギュラー」で、やねだんに「補欠」はいない。
できる人たちだけでやっては長続きしないし、感動もない。
住民総出で、関心を惹きつけ、自主財源を確保し、
福祉・環境整備や教育・文化向上に還元

活動: ○子ども達の夢のため(イチロー選手に会う、アートに触れる)

- 休耕地でのサツマイモ栽培や芋焼酎・梅酒、書籍「地域再生」「日本への遺言」等で自主財源確保
- 子どもに勉強やピアノを教える「寺子屋」や古民家を改装した芸術家を住まわせる「迎賓館」等で教育・文化向上

○学び(リーダーがいなければ、他地域に学び、みんなで考える)

- 故郷創世塾など地域経営学・リーダー育成や講演活動

○なかまづくり(地域と地域でつながる)

- 東日本大震災では被災地支援で社会貢献

2021/01/07

6

地域・集落での連帯力の向上(他地域事例)

II. きらりよしじまネットワーク(山形県川西村吉島地区)(人口約2,500人)

(<http://www.e-yoshijima.org/>)

将来像: 人が輝き、喜びを見出し、笑顔をうるおいのある里

基本目標: 歴史と文化を守り、人とひとが築く明日へのつながり

地域づくりのテーマ: 夢をカタチに ~想い織りなすまちづくり~

経緯: ①行財政改革で7つの地区(小学校区)公民館の公設民営化

②地区公民館の非常勤事務局6人で勉強会

③縦割り行政に対応する地域の各種団体を再編

④住民自らが地域課題解決の当事者になる仕組みづくり

⑤年4~5回x3年の住民ワークショップで地区計画策定

⑥全住民への周知・全世帯加入のNPO法人を設立

活動: 女性起業支援、学童保育の経営、産直経営、介護予防事業、
買い物代行見守り支援事業、高齢者サロン事業など

視察研修・地域づくり研修・講師派遣なども展開